

令和5年度 第1回住吉区防災専門会議での意見に対する対応方針

資料 1

番号	意見	対応方針	参考
1	<p>【災害時の情報発信について】</p> <p>令和5年6月2日の大雨では、大和川の水位がかなり上昇したため、大和川の近くに住んでいる人はかなり緊迫感があったものの、それ以外の人々の関心が低いように見受けられた。<u>もっと多くの人が危機感をもつよう、早めの周知が必要ではないか。</u></p>	<p>6月2日の大雨では、柏原観測所での最高水位が4.6mまで上昇したものの、警戒レベル3発令基準である4.96mまでは到達せず、避難所の開設についても開設準備でとどまりました。</p> <p>警戒レベル3とは、高齢者等避難ということで、避難に時間のかかる方たちへの早めの避難を呼びかけるものです。<u>警戒レベル3が発令されますと、青色防犯パトロールカーや消防車両、警察車両等での広報のほか、区役所ホームページやX(旧:Twitter)での周知を行います。</u></p> <p><u>水位が警戒レベル4(全員避難)発令基準である5.54mに到達しますと、防災スピーカーからサイレンが鳴ります。</u></p> <p>今後も、区民への情報発信を適宜行えるよう、取り組んでまいります。</p>	<p>畑委員</p>
2	<p>【避難所配備物品について(タブレット端末)】</p> <p>避難所で活用するためのタブレット端末を配備とのことだが、<u>具体的にインストールされているアプリや、単体で通信できるものなのか教えてほしい。</u></p>	<p><u>大規模災害時には、ドコモ、au、ソフトバンクの携帯キャリアが無料開放する、公衆無線LANサービス(00000JAPAN)が開通するため、インターネット環境は整備していません。</u>また、学校のWi-Fiの活用も検討しておりますが、セキュリティ上難しいといった回答をいただいているところです。</p> <p>タブレット端末には、大阪市防災アプリや翻訳アプリ等がインストールされています。現状、タブレット端末は災害時避難所への配備ではなく、<u>災害が発生した際に区役所の職員が避難所へ持ち込み、防災情報システム等への入力を行うといった活用を予定しております。</u>今後、職員に対して運用に向けた訓練を行っていく予定です。</p>	<p>畑委員 小林委員</p>